

# 海外乳製品市況

## 主要乳製品輸出国・地域の生乳生産状況

EU27ヶ国：天候不良、生産コストアップなどから8-10月は、同期比1.3%減。

米国：生産者乳価が前年比7.8%高の100ポンド当りUS\$22.10となり、11単月の生乳生産量は1.0%アップとなった。

NZ：8-10月は前年比5.9%高となったが、ニュージーランド第一次産業省は通年では前シーズン並みと予測している。

豪州：8-10月は前年比0.4%高、灌漑水量は十分で、通年では2%増を見込まれる。

アルゼンチン：過去2年間に渡り二桁増を続けていたが、天候不良により7-9月は5.6%減。

## 主要乳製品価格情報

(単位:US\$ FOB 港)

	オセアニア	2週間前	西ヨーロッパ	2週間前
バター	3,000-3,600	(3,000-3,600)	4,300-4,600	(4,300-4,600)
脱脂粉乳	3,250-3,600	(3,250-3,550)	3,400-3,600	(3,400-3,600)
全粉乳	3,150-3,500	(3,100-3,500)	3,850-4,000	(3,850-4,000)
CHEDDARチーズ	3,800-4,200	(3,800-4,200)	—	—
バターオイル	—	—	4,950-5,500	(4,950-5,250)
ホエイパウダー	—	—	1,325-1,500	(1,325-1,475)

資料:USDA International Dairy Market News 2013年1月3日付

1月2日に行なわれたフォンテラ社(ニュージーランド)Global Dairy Tradeにおいて、脱脂粉乳平均落札価格は前回比4.7%高US\$3,572、全粉乳は1.6%高US\$3,199となった。

## ● 注目点

### 粉乳調製品と円安

貿易統計によると、平成23年度において前年度比14.5%増の15万8,800トンであった粉乳調製品等の輸入量は、24年度も4~10月において前年同期比5.4%増の9万9,000トンと好調に推移しています。輸入増加の主要因は国内脱脂粉乳価格の上昇と高止まり、対して国際粉乳相場の低迷と円高と言われています。しかし、米国での旱魃による飼料価格高騰のため生乳生産量が減少し、国際乳製品市況は緩やかに値上りしている、また為替は昨年末より一転大幅な円安に推移しています。いずれ粉乳調製品のコストアップに繋がり、国内乳製品の需給に少なからず影響を及ぼすと考えられます。